

令和5年第1回当別町議会定例会一般質問通告一覧

令和5年3月定例会

順序	議員名	要 旨
1 番	櫻井 紀栄 (一問一答方式)	<p>1 児童館と社会教育施設について</p> <p>【質問のねらい】 保育所やプレイハウスは子どもを預かる場所である。児童館は行きたい子がいく無料の遊び場として認知されがちであるが、本来は地域の児童福祉・ソーシャルワークの最前線拠点である。特に当別において冬に屋内で自由に遊べ、集える場所がない課題について長年解決されないことは、子ども・保護者・祖父母にわたって不満の募り続ける重要な問題である。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 児童館について</p> <p>① 児童館の設置は地方自治体が決定するため、自治体により整備状況、役割、機能は異なる。児童館の機能や必要性について町としてどう考えるか。</p> <p>② 幼少期からみんなで混ざって遊び、人間関係の輪を広げることが重要。距離や学区の問題で子どもたちの交流のない現状がある。ふとみ・当別のこどもたちが交流できるきっかけや場所づくりについてどう考えるか。</p> <p>③ 放課後の過ごし方として、プレイハウスだけではなく保護者の教育の価値観やライフスタイルに合わせたサービスを選択できる環境を整備していかなければならない。どう考えるか。</p> <p>(2) 社会教育施設について</p> <p>活動場所として既存の施設を有効活用することが子どもたちの活動場所づくりの近道でもあると考える。子ども・子育て支援事業計画にも社会教育施設の活用を推進するとある。</p> <p>① 施設の利用については、要望があれば事業内容を確認して柔軟に対応していると答弁があった。総合体育館のロビーの一部を談話スペースにすることにより今後フレキシブルに使えるのでは。</p> <p>② 子どもたちが使いやすい施設の仕組みやルールづくりが必要。ルールの整備をしていくべきでは。</p> <p>2 あそびの広場の利用緩和について</p> <p>【質問のねらい】 コロナウイルス感染症対策緩和に向け、あそびの広場で実施している人数制限・利用時間制限・予約制の解除が必要と考える。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 予約や人数の枠にとらわれず当日に利用したいという声が多い。1日でも早く以前の利用環境に戻して再開すべきと考えるが今後の見通しは。</p>
2 番	鈴木 岩夫 (一問一答方式)	<p>1 新型コロナ感染症対策と今後の本町医療体制について</p> <p>【質問のねらい】 これまでの経過から見えてきた課題と感染症の分類において「2類」から「5類」に引き下げられた下での対策と今後の本町医療体制について質す。</p>

【質問項目】

- (1) 医療機関や高齢者施設でクラスターが発生していた。移行後も必要な感染対策は続けなければならないと考えるが伺う。
- (2) 本町においても医療機関スタッフの感染や介護施設でのクラスター発生など経営にダメージを受けたところが少なくない。医療・介護施設への経営支援を実施すべきと考えるが伺う。
- (3) 新たに2医療機関の開設、今年度1医療機関が加わる。夜間・休日などの救急医療体制の再構築についての検討はあるか伺う。

2 農業10年ビジョンについて

【質問のねらい】

危機に直面する本町農業について、今後10年どのような方向が求められているか質す。

【質問項目】

- (1) 水田活用の直接支払い交付金対象者に向けた事前調査が実施され、畑地化を希望する面積が明らかになった。結果から見えてくる本町農業の課題について所見を伺う。
- (2) 食料の確保は、国民のいのち、暮らしに関わる重要な課題。今後10年どのような方向が求められているか、農家のみならず消費者含めた検討が必要。10年ビジョン検討委員会に消費者も委員として参加すべきと考えるが伺う。
- (3) JA西当別支店の金融閉鎖について案が示された。組合員のみならず地域の金融機関としてなくてはならない役割を果たしてきた。移住者が増える中、今後もその役割は高まると考える。住民の意向を農協に伝え、農協の考えを聴く機会を考えているか伺う。

3 持続可能なまちづくりについて

【質問のねらい】

積極的な移住促進策で人口減がストップした。安心して産み・育てられるまちづくりに求められているのは何か質す。

【質問項目】

- (1) 持続可能なまちづくりにおいては、人口減に歯止めをかけることが主要命題だ。新築住宅購入支援事業が功を奏している。新たに産後健康診査事業、待機児童を出さない施設整備事業など安心して産み・育てられるまちづくりに向けた施策が計上されているが、小学校卒業までの通院医療費無料の助成拡大について実施するなら今が最適ではないかと考えるが伺う。

4 再エネ・省エネ促進について

【質問のねらい】

エネルギーの自給率向上が喫緊の課題である。本町の再エネポテンシャルを自分たちの町で活用する方向が持続可能な社会実現につながる。その点について質す。

【質問項目】

- (1) 再生可能エネルギー設備導入推進事業が計上されているが、これは自治体・個人レベルでの分散型自給可能な事業なのか伺う。また、本町の再エネ促進計画は、その方向か伺う。

		<p>5 立地適正化計画と庁舎建設について</p> <p>【質問のねらい】 立地適正化計画に基づいた街づくりにおいては駅が要になっているが、庁舎建設も重要な位置を占めている。各種状況の変化と計画の見直しについて質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) ロイズタウン駅の開設、移住者増で人口減ストップ、図書館開設と町の賑わいづくりなど立地適正化計画作成時点とは状況が大きく変化してきている。これら各種状況の変化に合わせた計画の見直しは行わないのか伺う。</p> <p>(2) 庁舎建設の財源について様々な手法が模索されているが、自主財源でない方法でのトラブルが懸念される。自主財源での建設は無理なのか伺う。</p> <p>6 給食費の改定と教育行政の役割について</p> <p>【質問のねらい】 給食費の改定と本町の教育課題解決に向けた教育行政の役割と決意を質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 国の進めるみどりの食料システム戦略では、「有機農業推進総合対策事業」において、給食への試験的導入に対し上限 400 万円の支援がある。この事業の活用を考えてはどうか伺う。</p> <p>(2) 義務制学校がスタートして1年。条件整備を担う教育行政として西当別小学校・中学校の解決すべき重要課題として当面どのようなものを考えているか伺う。</p>
3 番	佐藤 立 (一問一答方式)	<p>1 阿蘇公園の改修工事と予算編成過程の公開</p> <p>【質問のねらい】 公園施設長寿命化計画に基づく阿蘇公園の池などの改修工事は、令和3年度、令和4年度に続き令和5年度も予算計上されなかった。その政策判断の背景を問う。また、町の諸活動を町民に説明することで町政に対する町民の信頼と理解を深め公正でひらかれた町政を推進するという情報公開条例の趣旨も踏まえ、予算編成過程の情報公開についても問う。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 阿蘇公園の修景施設改修については、限られた財源の中で事業の優先順位をつけての判断ではあると推察するが、予算計上に至らなかった理由を改めて具体的に伺う。</p> <p>(2) 町政に対する町民の信頼と理解を深め公正でひらかれた町政を推進するために、予算編成方針、部局からの予算要求、財政査定など予算編成過程について、町政の円滑な実施を著しく困難にすることがない範囲で公開してはどうか。</p> <p>2 ふくろう図書館の移転に伴う事務と町民参画</p> <p>【質問のねらい】 老朽化の進むふくろう図書館を当別駅南口に建設される民間ビルへ移転する方針が示された。2015年に答申された当別町図書館基本構想において、図書館の準備段階の重要性が指摘されていることから、ふくろう図書館移転に向けた事務と、町民参画について問う。</p>

		<p>【質問項目】</p> <p>(1) ふくろう図書館の移転に向けて行う事務とそのスケジュールを具体的に説明されたい。</p> <p>(2) 当別町図書館基本構想には、3つの条件と5つの大枠、さらにはあとがきでバックヤードの重要性が言及されている。これらは、今回の移転においてどこまで反映されるのか。</p> <p>(3) 新しい図書館の設計はどのように進める計画か。</p> <p>(4) 新しい図書館の設計にあたっては、なるべく早い段階から町民が参加できるワークショップなどを開催する必要があるのではないか。</p> <p>(5) 図書館の移転にあわせて、図書館運営協議会を設けてはどうか。</p> <p>(6) 図書館移転にあたって、司書の専門性を活かした関与が重要であると考えますが、どのように関わるのか。</p> <p>3 西当別地区の小中学校の今後</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>西当別中学校は旧当別中学校校舎と比べて11年新しい建物だが、学校の建設にはその準備作業だけでも数年を要することを考えれば、西当別地区の学校について議論を始める必要がある。これは、当別町全体のまちづくりのテーマであると同時に、西当別で子育てをされる町民の方々がどのような教育環境を望まれるのかという地域の問題でもある。義務教育学校化を基本路線としつつも西当別地区の町民の意向を反映して検討をすすめることが重要である。そこで、今後の取組について問う。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 西当別地区の義務教育学校化に向けたスケジュールは具体的に検討されているのか。</p> <p>(2) 西当別中学校の築年数と、旧当別中学校の築年数との差の約10年を目安として、とうべつ学園が開校した今年から概ね10年以内に対応をとると考えてよいのか。</p> <p>(3) 西当別地区の小中学校について、主に西当別地区の子育て世代を中心とする町民が参加できる、オープンな場を設けて検討と合意形成をすすめる必要があるのではないか。</p>
4番	五十嵐 信子 (一問一答方式)	<p>1 西当別小学校・中学校のトイレの洋式化について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>西当別小学校は、昨年9月に1・2階の中央トイレの12ヶ所が洋式化となったが、3階は改修に至っておらず、また西当別中学校においても洋式化にする必要があると考えるが伺う。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 女子児童の保護者からも、身体の変化が現れる時期の児童が利用する3階も、洋式化を求める声がある。子ども達が自宅と変わらず、不安なく安心して利用できるように同じく改修すべきである。</p> <p>(2) 昨年、小学校の改修時には中学校での洋式化の要望はなかったとの報告があった。しかし、学校は地域の避難所となる場所であり高齢者・障がいのある方、また妊婦さんも利用される可能性もある。町民・生徒のため、早急に快適な環境となるよう改修すべき。考えを伺う。</p>

		<p>2 リモート相談窓口整備事業について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>太美郵便局内に太美出張所が設置されているが、本庁舎やゆとろへ行かなくても多様な手続きや申請が出来るよう、業務を広げる計画はあるか伺う。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 太美出張所で扱えない手続きなどは郵送でも対応可能な場合もあると伝えられているが、簡単な申請でも本庁舎やゆとろへ行かなければならない。太美地区でも利便性良く多様な手続き・申請が出来ることを望むが、これからの役場窓口の新たなスタイルは、町民にとってどのようなメリットにつながるのか伺う。</p> <p>(2) 「リモート相談窓口」は、太美出張所において地域包括支援センターともつながり、身近な場所で行政手続きに関する質問・相談だけではなく、総合的な相談が出来る窓口として利用可能との認識で良いか。伺う。</p>
5 番	山崎 公司 (一問一答方式)	<p>1 令和4年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>昨年実施された小学5年と中学2年の児童・生徒を対象とした全国体力テストの結果と課題解決のために『当別体力向上プラン』の中で体力向上を目指して具体的にどのように実施されたか質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 今回実施された町内小学校・中学校の</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 体格に関する調査 ② 体力・運動能力（実技）に関する調査 ③ 運動習慣、生活習慣について <p>これらの結果について伺う。</p> <p>(2) これらの課題解決のために『当別町体力向上プラン』があり、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 北海道医療大学と連携した『体力向上プラン』の実施とあるが、具体的にどのような内容で実施されたかを伺う。 ② コミュニティ・スクールによる児童・生徒の体力向上に向けた地域行事等の充実と生活習慣改善の啓発とあるが具体的にどのように実施されたか伺う。 ③ 児童・生徒の公共施設の利用について現在の有料から無料にするよう提案しているが、この機に児童・生徒の体力向上の為、実施することが必要ではないか伺う。 <p>2 文学碑『石狩川』観光資源の活用</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>建立されて50年以上経過する文学碑『石狩川』を活用して観光の活性化を目指してはどうか質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 文学碑『石狩川』の看板・トイレの改修とさらに周辺、特に当別町に入るエントランス看板の改修も必要と考えるが伺う。</p> <p>(2) 1日散策コースとして、文学碑・本庄陸男生誕の地碑・ロイズ工場ミュージアム・ロイズタウン駅・道の駅とユルタビとうべつにマップとして追加紹介してはどうか伺う。</p> <p>(3) 観光協会事務局が役場内にあるが、道の駅の所管も経済部となり、</p>

		<p>この機に観光協会と議論の上、事務局を道の駅内に移し、道の駅を中心とする(2)のコースを一般・町内住民中心のバスツアーとして企画してはどうか。同時に町内観光スポットの情宣活動に力をいれたらどうか伺う。</p> <p>(4) 道の駅中心にサイクリングコースとして、太美駅での貸し出し実績を踏まえ、道の駅に自転車を保管して貸し出してはどうか。バスツアーと共に有効な自転車貸し出しが交流人口の増と観光の活性化に繋がると思うが伺う。</p> <p>3 DX時代のリスクリング（学び直し）の必要性</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>民間・行政もDX時代に対応した構築が求められる。『書かない窓口』は、いつ実現するか。国が求める自治体DXに対応する為、どのような学び直しをすべきと考えているか質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) DX時代に対応した税財政制度・自治組織・職員体制の構築が求められ、職員にもDX時代にふさわしい能力を備え、的確な役割を果たす事が期待されるが伺う。</p> <p>(2) 庁舎内のDX人材比率はどの程度になっているか伺う。</p> <p>(3) 現在、デジタル技術の大半を民間企業に依存しているが、行政の技術・開発部門で対応出来ないのか伺う。</p> <p>(4) デジタル技術による『書かない窓口』は、具体的にいつ実現出来るのか伺う。</p> <p>(5) 自治体DXには、国が示す方針、近隣自治体とのサービス調整、長期間に及ぶ経過措置、高齢者に対する配慮が必要となるが、学び直しのステップは、日常業務におけるOJTだが、従来の日常業務から切り離れた学び直しが必要と考えるがどのような研修方法を検討しているのか伺う。</p>
--	--	--

【計5人、2時間30分（1人30分計算）】